

フジプリグループ

(東京)

少量多品種のものづくりで時代の変化を捉える 100年企業へと突き進む電子機器のプロ集団



荒井 勇輝 社長

プ リント基板のトータ
ルソリューションカ
ンパニーとして、電子機器
の開発・設計・製造から製
品化サポートまでをワンス
トップで手掛ける富士プリ
ント工業(株)。最先端のもの
づくりで永続的に発展する
「100年企業」を目指すべ
く、昨年2月に持株会社と
してフジプリグループ株式
会社を設立した。

「祖父から父、そして私へ
と受け継がれているのは『公
社を潰してはならない』と
いう強い思いです。グルー
プ各社の特徴と相乗効果を

生かし、2020年に連結
売上50億円を目指します」
と話すのは、今年7月か
ら富士プリント工業の指揮
を執る荒井勇輝社長。29歳
という若さで、グループ7
社と出資企業1社を束ねる
同社の初代社長も務める。

中核企業である富士プリ
ント工業は民生品の量産か
ら事業をスタートし、大手
セットメーカーが挙って高
多層化を進めた90年代から
少量多品種のものづくりへ
とシフト。この少量多品種
と短納期への対応、設計・
製造から実装までを一貫し
て担える生産体制がクライ
アントからの信頼を集め、
市場規模が縮小する中でも
堅調な業績を維持している。

「大手にはない、小回りが
利く対応力が強み。他社が
嫌がる仕事にも積極的に挑

戦してきました(荒井社長)
そして、2002年にクラ
イアントの要望に定める形
で設立したのが現在の富士
電路科技(香港)有限公司
である。日本人の品質管理
責任者が常駐し、検査員も
派遣。製品に最適な現地工
場の選定や、きめ細やかな
対応力で日系企業をサポー
トするエレクトロニクス専門
商社だ。14年には中国に富
士電路(深圳)有限公司も
設立し、グループの海外拠
点は着実に広がっている。

「プリント基板の市場が縮
小する中で、リスクを分散
する方法として取り組んで
きたのがM&A。これから
は十分に整理・分析をしな
がら、戦略的なM&Aで新

戦してきました(荒井社長)
そして、2002年にクラ
イアントの要望に定める形
で設立したのが現在の富士
電路科技(香港)有限公司
である。日本人の品質管理
責任者が常駐し、検査員も
派遣。製品に最適な現地工
場の選定や、きめ細やかな
対応力で日系企業をサポー
トするエレクトロニクス専門
商社だ。14年には中国に富
士電路(深圳)有限公司も
設立し、グループの海外拠
点は着実に広がっている。

戦略的M&Aによる シナジー効果を発揮

「こう荒井社長が話すよう
に、同社は06年の(有)双明通
信製作所を皮切りに、15年
にEMS(電子機器の受託生
産サービス)メーカーのフ
エイズ(株)、今年2月には電
子機器開発の技術支援など
を行うアポロ技研(株)をグル
ープ化。各社が持ち味を生
かして着実に業績を伸ばし
ており、同社の総合的なも
のづくりと安定した経営基
盤の一翼を担っている。

荒井社長は今後、さらな
るシナジー効果を生み出す
ために各社の連携と交流を
深め、人事・評価制度の見
直しも推進。絶大な信頼を
寄せる各部のリーダーたち
と共に組織力の強化を図る。
「給与策定を任せても良い
と思うほど、部長たちは頼



グループの基点となる本社外観



開発実験の光景

りになります。社員一人ひ
とりがビジョンを描ける評
価制度を作りたいですね」
と話す荒井社長の夢は、
米国現地法人の設立だ。(谷

「会社データ」

本社 東京都八王子市下恩
方町315-11
☎ 042-650-8181
設立 2016年2月
従業員数 303名(グ
ープ合計)
売上高 41億900万円(グ
ープ合計)
事業内容 プリント基板事
業、実装・EMS事業、開発・
板金事業、海外事業
<http://www.fujiprix.com>